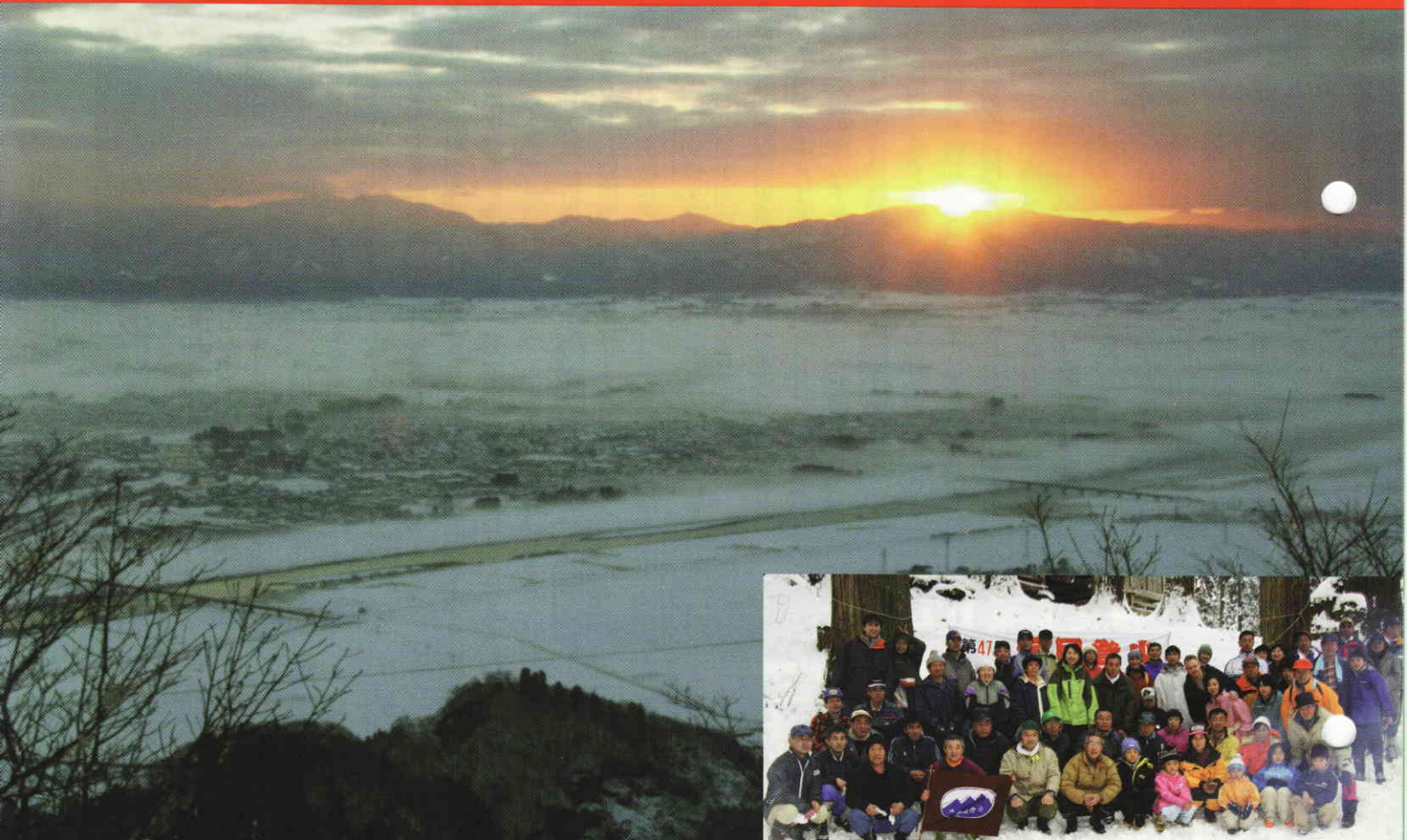


市議会だより

平成19年1月31日 第7号



平成19年元旦、大曲姫神山頂から望む初日の出と元旦登山に参加した大曲山彦会等の皆さん



大仙市議会議員

橋本五郎

新春を迎えて

明けましておめでとうございます。
輝かしい平成19年の新春を市民の皆様と共に
お迎えましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、豪雪により秋田新幹線こまちの開業
以来初めての終日運休や連日の雪寄せに苦勞し
た雪国生活の厳しさ、また、温泉地では雪崩に
よる犠牲者が出た一方、全国都市対抗野球で県
代表チームの優勝、県出身女性の日本人女性と
してK2初登頂の成功など明暗をわける出来事
がありました。中でも児童と保育園児が命を
奪われた痛ましい事件は、心に重くのしかかっ
た1年であったように感じております。

さて、国においては、小泉内閣から安倍内閣
に政権が移行し、さらに三位一体の改革が推進
され、国庫補助負担金の廃止・削減、地方交付
税の見直しなどの、地方には一層の自己決定・
自己責任が求められました。

このように地方分権の確立が時代の趨勢であ
る中、昨年の大仙市は合併2年目となり、新市
の総合計画を實踐していく初年度でありました。
迎える平成19年は、新市として3年目となり、
真に合併の成果が問われる年の始まりではない
かと思われまます。

そのため議会は、当局と相協調して、財政の
許す限り最大限の行政効果をあげるため、一丸
となつて努力すべき年であると考えております。

市議会は、市民の代表として、議決機関の機
能を最大限に発揮しつつ、市民の皆様のご期待
にそうよう努めてまいります。

今年も大仙市議会に対しまして、より一層の
ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ
ますとともに、平成19年が市民の皆様にとりま
して幸せな年でありませうお祈り申し上げます。
新年のごあいさつといたします。

一般質問

仙北組合総合病院の
移転新築早期実現は

小山 誠治 議員



【質問】

仙北組合総合病院の移転新築問題についてのこれまでの経過と今後の見通しについて伺いたい。

【答弁】 栗林市長

仙北組合総合病院建築検討委

員会において検討が重ねられ、移転新築の方針が出されたものの、経営母体である秋田県厚生農業協同組合連合会の財務状況等から実現の見通しが立たず現在に至っております。本年5月には地域医療シンポジウムを開

【質問】

市営水産ふ化場を維持拡大していくためには、水源の確保が必要である。また、水槽改修工

催いたしました。が、厚生連経営管理委員会の渋川会長が挨拶の中で、「機関決定はなされていないが、一つの目途として10年後にはオープンさせたい」と言及しております。仙北市長及び美郷町長に呼びかけ、2市1町の首長及び担当者による「仙北組合総合病院移転新築問題に関する地元自治体協議」の場を設置し協議を進めて参ります。

【答弁】 栗林市長

事、さらには建物全体の改修も必要であるが市当局の考えを伺いたい。

この施設は整備後25年余りが経過し、施設の老朽化や地下水位の低下も目立つようになってきているのが現状です。今後の整備等については、新たにサクラマスの探明と蓄養事業が始まることから、既存のサケの資源活用も含め、水源の確保、水槽の補修、さらには水産ふ化場の整備など、大曲地域協議会や花館地域いきいきビジョン会議、

さらには雄物川鮭増殖漁業生産組合と相談しながら、新年度より年次計画で進めてまいりたいと考えております。

(小山議員はこの質問のほか、「非核平和都市宣言について」「大仙市役所の標示について」の質問も行いました)

【質問】

教育委員会で把握している大仙市管内の学校におけるいじめ(パワーハラスメントも含む)の件数は、どのくらいになっているのか。

【答弁】 三浦教育長

10月25日付けで「いじめの実態の把握といじめの問題に対する具体的な対応策」の報告を全小・中学校に求めました。その結果、小学校で15件、中学校で35件のいじめが確認されております。管理職の部下に対するい

【質問】

はじめは教育委員会として認識しておりません。

スクールカウンセラーや心の教室相談員を配置しているが、どれくらいの相談件数があるのか。また、どういう人がなっているのか。

【答弁】 三浦教育長

相談件数はスクールカウンセラーが延べ195件、心の教室相談員が4校で合計して延べ397件となっております。スクールカウンセラーは県の配置事業であり、資格をもった臨床心

【質問】

国の教育方針とは異なるローカルな教育方針、いわゆる教育基本法大仙市版なるものを大胆な発想で作ってもいいのではないか。

【答弁】 栗林市長

大仙市という地域のよさを生かし、人材の活用を図りながら、確かな学力の向上を目指し、キ



移転新築が待たれる仙北組合総合病院

一般質問

学校の
いじめの件数は

橋村 誠 議員



ヤリア教育の充実や中学生の海外派遣事業等を通して、大きな夢や志のある人材の育成に努めていくことが、大仙市の教育の基本であると考えております。

(橋村議員はこの質問のほか、「子育て支援について」「国民健康保険事業について」の質問も行いました)

12月

第4回定例会のあらまし

19年度予算は必要な経費を新たな視点で編成

12月定例会（第4回）は12月5日に招集され、20日までの16日間の会期で行われました。

初日に市長から本年度の主要事業の進捗状況並びに諸般の報告があり、この中で、「県内の市町村としては初の試みとなる住民参加型市場公募債『だいでん夢未来債』は、購入対象者を大仙市内に居住または勤務する個人及び市内の法人に限定し募集したところ、571件、総額8億5,670万円の応募があり、目標の3億円を大きく上回り、11月28日、厳正な抽選を行い200人の当選者を決定させていただいた」と報告されました。

さらに10月23日に発生した高畑保育園児に係る事件については、「あつてはならない事件であり、あらためて深く哀悼の意を表するとともにご冥福をお祈りする」と述べると同時に「今回の事件を踏まえて、これまでの市としての対応について、関係者による検証を行い、要保護児童に係る対応策のマニュアルを作成するとともに、このような状況に至らないよう早期発見に努めながら、児童相談所をはじめとする関係機関との連携の強化や福祉事務所内の体制の充実、要保護児童対策地域協議会の設置など、早急に対策を講じてまいります」と決意を述べられました。



市政報告を行う栗林市長（右）、議場にはたくさんの傍聴人が見えられた

最後に平成19年度の予算編成では「①前例踏襲による予算編成を改め、真に必要な経費を持つ新たな視点の予算編成 ②すべての既存事業の見直しを行い、コスト削減を図り、スクラップアンドビルドを徹底 ③各種補助負担金については統一した考えのもと見直しする ④職員の創意工夫や既存資源の活用などで、きめ細かな住民サービス ⑤本年度の『地域枠予算』を内容の充実を図り継続 ⑥部局の主體的な予算編成、枠配分方式を実施する」と述べられました。

上程された案件は、決算の認定1件、条例案9件、補正予算18件、単行案11件で、いずれも認定、原案可決並びに同意と決しました。

一般質問

6人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をたずねました。以下はその要旨です。

一般質問

雇用対策について

北村 稔 議員



【質問】 市長就任以来、どのような考え方で雇用対策にあたつてこられたか伺いたい。

【答弁】 栗林市長

大仙市総合計画の産業と雇用においては「企業誘致の強化」と「既存企業の振興」の施策に取り組むこととし、就労機会の創出に努めて参りました。新規の雇用に対する雇用助成金制度、工業等振興条例による工場の新増設に対する5か年の課税免除、空き工場等の再利用を促し創業時の経費を軽減する助成金制度を設け、市の雇用創出のための施策としてまいりました。

【質問】 その結果、どのような成果・実績があつたか伺いたい。

【答弁】 栗林市長

合併後は新たな誘致企業が2社、事業規模拡大企業が3社、空き工場の紹介斡旋による操業

開始企業が2社、製造業に営業部門が新規に加わった企業が2社となっている状況です。

【質問】 今後、どのような対策を考えているのか。

【答弁】 栗林市長

東京で行われる企業リッチセミナーでのPRや各地域のふるさと会を通じて情報収集を図っているほか、当市に関連のある代表的な首都圏企業4社を訪問し、現地企業を指導統括する立場からの要望をお聞きしながら対策を講じたいと考えております。

【質問】

雇用対策をはじめ労政全般を担当する独立した課、あるいは対策室を設け、専任の職員を配置し、これに当たることを提案するがいかがか。

【答弁】 栗林市長

新たな担当課を設置することではなく、企業の窓口となり企業誘致を推進する担当の配置を現在の部署に強化する形で対応したいと考えております。（北村議員はこの質問のほか、「農業問題について」「維持費・修繕費について」の質問も行いました）

一般質問

事務所の 非正規雇用社員の 割合は

杉沢 千恵子 議員



【質問】 大仙市内の事業所において非正規雇用社員の割合はどのくらいなのか伺いたい。

【答弁】 栗林市長

平成16年の事業所統計では、従業者総数34,242人のうち雇用者は28,167人で、常用雇用者の正社員・正職員が19,764人の70.2%、常用ではあるが正社員・正職員以外である者が6,686人の23.7%、非常勤の臨時職員が1,771人の6.1%となっております。

質問

非正規雇用を正規雇用採用していたことが少子化に歯止めをかける有効な方策になると考えますが、今後、市として雇用創出をどのように展開していくつもりなのか。

【答弁】 栗林市長

企業が中長期的な展望のもとで、若い世代や子育ての中の女性の新規雇用やパートタイム労働者の正社員化を検討できる環境をつくる必要があると考えます。女性の再就職のため男性が働き方

を見直し、育児や家事に積極的に参加することへの啓発活動や民間企業に対する要請などを、商工観光課や男女共同参画室など関係各箇所が連携を図りながら進めてまいりたいと考えております。

質問

雇用や労政全般に関すること等、誰でも気軽に相談できる窓口を市として設置してみたいと思うが、考えをお聞きしたい。

【答弁】 栗林市長

無料職業紹介事業を行う場合には、厚生労働大臣の許可や届出が必要で、専門員の配置とプライバシーの保護対策としての場所の確保も必要となりますし、確実な求人、求職者情報のもとに職業斡旋しなければならず、きめ細かな相談に応じるには、限界があると思われるので、職業紹介をする新たな窓口設置については、なお検討を要するものと考えております。

(杉沢議員はこの質問のほか、「児童福祉について」、「いじめ問題について」の質問も行いました)

第3回臨時会

2件の議案を慎重審議

11月6日に第3回臨時会が開催され、議案2件を原案可決並びに同意と決し、閉会いたしました。

上程された議案の「大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について」は、大仙市総合公園野球場の室内練習場について、施設の利便性向上を図るため、今冬から冬期間の供用も行うこととするもの。また「工事請負契約の締

結について」は、10月26日に指名競争入札を行った統合保育園建設事業（西仙北）建築工事（契約金額1億8,375万円）契約の相手方株式会社丸茂組代表取締役 三浦尚 工期19年10月30日まで）について議決を求めるもの。
議案は建設水道常任委員会と教育民生常任委員会に審査付託され、慎重審査されたあと、本会議で表決されました。

互いの協力を誓う

2市1町の議会議員交流会を開催

消防や介護保険事業等の広域行政の推進に努めてきた旧大曲市仙北郡の1市13町村も平成の大合併により2市1町となりました。

議会としても広域行政の進展に寄与し、議員相互の情報交換と親睦を図るため、11月14日に大曲を会場に「大仙市・仙北市・美郷町議会議員交流会」を開催しました。



会場には70人の議会議員が参加し、仙北組合総合病院 小野地院長から「健康について考える」と題しての記念講演が行われたあと、議員相互の情報交換が行われ、互いに協力しあうことを誓いました。

橋本議長に秋田県地方自治功労者表彰

11月2日に平成18年秋田県文化功労者表彰式・地方自治功労者表彰式が秋田県正庁で行われ橋本五郎議長が地方自治功労者表彰を受賞されました。

橋本議長は昭和51年の初当選以来、連続して8期28年間旧協和町の議会議員として務められ、合併後の現在は大仙市議会議長として、また広域市町村圏組合の議長としても活躍されております。



一般質問

19年度の入札・契約制度の方針は

佐々木 洋一 議員



質問

現行の入札・契約制度を踏まえ、平成19年度からの方針について伺いたい。特に、一般土木工事における3ブロック別の発注については、地域経済や地元雇用に配慮した入札制度とし

て、良い効果が出ていると判断されるため、19年度以降も延長して実施できないか。

【答弁】 栗林市長

落札率の改善につきましては、全国的に見ますと70%台の落札率を示している自治体もあ

るようではありますが、大仙市としましては公正な競争を促進しながら経済的かつ良質な工事完

成を目指す方策を検討しなければなりません。次に大仙市発注のブロック別発注実績の偏りに対する対策であります。これらを解決するに当たってまず必要

なことは、現行3ブロック制を解消し入札参加者が真に活力ある企業活動に資することが必要

であると考えております。次に法律による取り組み要請であります。大仙市としましては、意欲のある業者の手上げ方

です。後期高齢者と現役世代の保険料の負担割合については、今後、後期高齢者人口の増加が見込まれる一方、現役世代の人口

が、見解を伺いたい。

【答弁】 栗林市長

診療報酬は、国では後期高齢者の心身の特性に応じた医療サービスを提供するとしておりますので、医療サービスの低下にはつながらないものと認識しております。

質問

滞納者から機械的に保険証を取りあげることのないよう、また、滞納者の心身の健康への影響を最大限に考慮した対応策を講じるよう求めるが、見解はいかがか。

【答弁】 栗林市長

短期保険者証や資格証明書の式による公募型指名競争入札をA・B・C全ての等級で実施することとし、応募する業者には良識ある対応を期待するとともに、実施に当たっては工事案件ごとに地域要件等を付すことを視野に入れ、柔軟な運用をした

いと考えております。総合評価落札方式につきましては、入札金額以外の評価項目を点数化し、学識経験者の意見を聴き、総合的な判断で落札者を決定するものでありますので、それぞれ創意工夫し独自性を発揮してほしいと願っております。

【答弁】 栗林市長

交付は広域連合での交付となりますが、当然、被保険者の実態を把握するための相談等を行いたうえ、本人の所得の状況や、本人や家族の心身の状態等も勘案のうえ、特別な事情の無い方への資格証明書等の発行になるものと思われれます。

質問

広域連合規約に「後期高齢者の意思反映のしくみ」「市町村議会への報告義務」「情報公開の徹底」について盛り込む必要があると考えるが見解はいかがか。

ます。この方式につきましても、試行段階ではありますが、相当数の工事について実施して参りたいと思っております。(佐々木議員はこの質問のほか、「平成19年度からの担い手を対象とした農業政策に対する市の対応、取り組みについて」の質問も行いました)



議場の見学を訪れた大曲小6年の児童

一般質問

後期高齢者医療制度について

佐藤 文子 議員



新制度では、高齢者数や医療費が増えるたびに、「保険料の値上げ」等の痛みしかない事態が待ち受けていると考えられ、高齢者の命と健康に重大な影響をもたらすことが懸念される

滞納者から機械的に保険証を取りあげることのないよう、また、滞納者の心身の健康への影響を最大限に考慮した対応策を講じるよう求めるが、見解はいかがか。

【答弁】 栗林市長

短期保険者証や資格証明書の式による公募型指名競争入札をA・B・C全ての等級で実施することとし、応募する業者には良識ある対応を期待するとともに、実施に当たっては工事案件ごとに地域要件等を付すことを視野に入れ、柔軟な運用をした

【答弁】 栗林市長

規約案の変更につきましては、県内25市町村の12月議会に提案しているものでございますので、現段階での規約案の変更は無理と思われれます。(佐藤議員はこの質問のほか、「温泉ふれあい入浴サービスについて」、「教育基本法改悪問題」といじめ対策について、「臨時職員の処遇改善について」の質問も行いました)

決算審査

より一層の歳出の削減を

平成17年度大仙市一般会計・特別会計決算を認定

閉会中の継続審査としていた、平成17年度大仙市一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定については、11月7～10日の4日間にわたり決算特別委員会（大坂義徳委員長）で審査され、第4回定例会の初日（12月5日）に委員長報告を受けたあとに質疑、討論、表決を行い、賛成多数により認定されました。

委員会の審査は常任委員会単位の4分科会（総務・企画産業・教育民生・建設水道）で分科会審査をした後に全体で審査をしました。

各分科会における主な審査内容をお知らせいたします。

総務分科会

①財政事情が厳しい中、行財政改革を進めている点は評価できるが、今後も実質公債費比率の基準である18%に留意した財政運営に徹するとともに、より一層の歳出の削減に努めていた

きたい。

②市税に関しては、口座振替による納付の促進など、収納手段の改善に努め、効率的な収納を図っていただきたい。又、不納欠損の処理に関して、納税者に不公平感を抱かせることのないように、今後とも適正に処理していただきたい。

③財産区特別会計においては、財産区の財政が大変厳しくなっていることから、今後の運営について様々な観点から検討していただきたい。

企画産業分科会

①予算科目が多岐にわたって

るが、事業の性格から、統合・統一できるものがかなりあると思われるので、十分検討してすっきりした事業内容にしていた

②事業の予算計上に対して、未執行のものが見受けられる。また、不用額の大きい事業も多い。もう少し緻密でメリハリのきいた予算要求をして、必要な箇所には十分な予算措置を講ずるよう努められたい。

③平成17年度は、合併初年度ということもあって、各地域単位の事業が多いが、企画部門は、地域（支所）との話し合いが十分必要なセクションであると思うので、綿密に連絡調整をとりながら進められたい。

④国体開催まで1年を切ったこの時点で、一般市民は冷めているような気がする。住民、企業等すべてを巻き込んだPR活動を、大会に向け大いに盛り上げるよう努められたい。

教育民生分科会

①戸籍電算システム整備事業により、窓口での各種届出や証明書等の交付にかかる時間がこれまでの5分の1程度になり、一定の効果がみられる。窓口業務は市民にとって関わりが深いため、今後も一層のサービス向上に努められたい。

②国民健康保険税の収納率は前年度比で若干改善されているが、滞納繰越分の収納率は上がっていない。申請に來ないため減免を受けられないケースもあり、それが収納率低下の要因とも考えられる。市民に不利益とならないよう、広報等により、制度の周知やPRに努められたい。

③「子どもと親の相談員」や「心の教室相談員」等の事業は、児童生徒だけではなく、保護者も相談に來ていることから、一定の効果があるものと見受けられる。諸問題の解決のためにも学校・保護者との連携を一層図り、教育行政の推進に努められたい。

④平成18年度は事業の統一を図るなどして類似した制度や重複して予算計上した事業などの改

善は見受けられるが、今後も事務事業の効率化な運用に努められたい。また、各事業とも経費の削減に努めるのは良い事だが、削減を考えるあまりに市民サービスが低下するのは好ましくない。残額を出すにしてももう少し余裕のある予算編成をしていただきたい。

建設水道分科会

①国土調査事業は、旧市町村別に見ると、全域完了の地域、未着手の地域また現在休止している地域もある。全地域の国土調査事業を速やかに完了するよう検討されたい。

②各地域における普通建設事業費の配分については、公平性に欠ける部分が見られる。平成19年度予算編成にあつては、地域のバランスを考慮されるよう努められたい。

③合併前から継続事業として引き続き継がれた事業等は実施計画書どおりに実施されるよう努められたい。

④公共下水道事業、農業集落排水事業等の使用料や分担金、負担金の額は地域によっては大きな差が生じている。速やかに統一できるように検討されたい。



第4回定例会で審査内容を述べる
大坂義徳決算特別委員会委員長

総務常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、単行案3件、一般会計補正予算、淀川財産区特別会計補正予算いずれも原案可決並びに同意と決しました。

単行案の「字の区域の変更について」は、国による雄物川中流部緊急対策事業（築堤）の施行に伴い、協和地域の中小種地区住民の集団移転先として木形台住宅団地造成事業を実施しているが、この造成地区内の字を変更する必要があるもの。また、秋田県市町村総合事務組合の規約の一部変更については、消防組織法の一部改正に伴い、秋田県市町村総合事務組合規約を改める必要が生じたため、組合規約の変更に関する関係地方公共団体との協議について議決を求めるもの。一般会計補正予算は人事異動等に伴う職員人件費83,236千円の減額、庁舎や公用車の燃料費2,830千円、申告システム経費3,005千円、だいせん夢未来債発行に伴う手数料1,672千円等の補正。淀川財産区特別会計補正予算は、中淀川入会地処分に伴う補償費として189千円の補正であった。



委員会審査のあらまし

企画産業常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案5件、単行案4件、一般会計補正予算いずれも原案どおり可決と決しました。

条例の改正のうち、大仙市史跡の里交流プラザ「柵の湯」使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定については、経営改善を図るために平成19年4月1日から宿泊料金を一律1,000円値上げするもの。単行案の大仙市過疎地域自立促進計画の変更については、平成17年6月に策定した大仙市過疎地域自立促進計画について、平成18年3月策定の大仙市総合計画との整合性を図るために変更する必要が生じたもの。また、協和地域のモーターサイクル場、まほろば唐松公園施設、まほろば唐松中世の館及び大仙市工学博士部長穂記念館に係る指定管理者を指定することについての議決を求めるもの。一般会計補正予算は広報印刷製本費4,948千円、住民情報システム改修費5,775千円、ADSL設備整備費1,546千円、光伝送路新設工事費2,295千円等の補正であった。



教育民生常任委員会

当委員会に審査付託となった案件は、条例案4件、単行案2件、一般会計補正予算、特別会計補正予算6件、市立大曲病院事業会計補正予算で、いずれも原案どおり可決と決しました。

条例の改正のうち、大仙市公民館条例の一部を改正する条例の制定については、老朽化に伴い改築中の神岡地域北植岡公民館について、これまで使用料を徴しない施設として運営をしていましたが、改築を契機として他の公民館との均衡を考慮し、使用料を徴することとし、所要の改正を行うもの。単行案の秋田県後期高齢者医療広域連合の設置については、高齢者の医療の確保に関する法律により平成20年4月から新たに創設される後期高齢者医療制度について、その運営は県内すべての市町村が加入する広域連合によること義務付けられていることから秋田県後期高齢者医療広域連合を設置するものであり、その設置に関する関係市町村との協議について議決を求めるもの。一般会計補正予算の民生費は社会福祉法人が建設する特別養護老人ホーム等に対する補助金60,000千円、すこやか子育て手当支給事業費16,450千円、法人立等保育所負担金118,699千円、生活扶助費178,999千円等の補正。教育費は小学校冷房化事業設計業務委託料、小中学校の校舎修繕料及び備品購入費等の補正。市立大曲病院事業会計の補正は、入院患者の増加及び外来患者の診療単価の増加見込に伴う材料費9,030千円の補正であった。



建設水道常任委員会

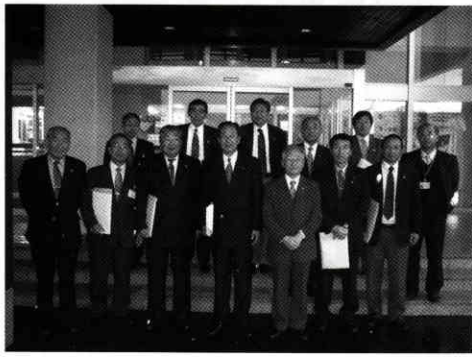
当委員会に審査付託となった案件は、単行案2件、一般会計補正予算、特別会計補正予算7件、上水道事業会計補正予算で、いずれも原案どおり可決と決しました。

単行案の簡易水道事業特別会計への繰入額の変更についてと、農業集落排水事業特別会計への繰入額の変更については、各々の特別会計に係る事業の推進を図るため、一般会計からの繰入額を改めるもの。一般会計補正予算の土木費は、通学路等の安全対策に要する修繕費2,113千円、市営住宅修繕料3,230千円、駅東線等の一部供用開始に伴う標識設置費2,067千円等の補正。特別会計補正予算のうち、宅地造成事業特別会計は協和地域上鏡台住宅団地土地売払収入の増加に伴う繰上償還金の補正及び消火栓・防火水槽の補償に伴う撤去工事費34,158千円の補正。上水道事業会計の補正は人事異動等に伴う職員人件費の補正で4,594千円であった。



福祉施設等法人化 調査特別委員会

大仙市福祉施設等法人化調査特別委員会は、11月20日から22日までの3日間、岩手県久慈市と青森県つがる市を視察し、保育所や福祉施設等の法人化についての先進地研修を行いました。



久慈市役所を訪問した福祉施設等法人化調査特別委員会

久慈市では、市政改革プログラムの一環として平成16年に策定された「公の施設の存廃アクションプラン」に基づいて、平成18年4月に市内の1保育園を民営化しており、他の保育園についても今回法人化した保育園の運営状況等

を検証しながら順次取り組んでいく予定であるとの事でありました。

また、特別養護老人ホーム、デイサービスセンター等の施設を平成15年に立ち上げた市社会福祉事業団へ指定管理委託する事により、効率的な施設運営や組織体制の充実が図られているとの事でありました。

つがる市では、市政改革大綱及び集中改革プランに保育所の民営化を位置付け、平成18年7月に策定した「つがる市公立保育所民営化等計画」に基づき、民営化だけではなく、廃止や統合も視野に入れた計画となっております。

また、民営化を進めていく上での反省点として、保護者説明会や市民への周知などの対応が遅れ、保護者の納得を得るのに苦慮したという話がありました。

当市が学ぶべきところ、当市が目指すものとは多少違うところ、様々なやり方や運営方法がありました。いづれも今後の方向性を考える上で、大変参考となった研修でありました。

(委員長 大野忠夫)

議会のうごき

【10月】

- 2日 北海道名寄市議会行政視察来庁
- 11日 議会運営委員会
- 12日 議会報編集委員会
- 12日 福祉施設等法人化調査特別委員会
- 20日 決算特別委員会正副分科会委員長会議
- 23日 福祉施設等法人化調査特別委員会
- 24日 大阪府寝屋川市議会行政視察来庁
- 24日 建設水道常任委員会視察研修
- 24～26日 議会運営委員会
- 30日 福祉施設等法人化調査特別委員会
- 31日 福岡県飯塚市議会行政視察来庁

【11月】

- 1日 秋田県市議会議員研修会(秋田市)
- 6日 第3回臨時市議会
- 7日 企画産業常任委員会
- 7日 7～10日 決算特別委員会審査
- 10日 福祉施設等法人化調査特別委員会
- 14日 栃木県那須塩原市議会行政視察来庁
- 15～17日 北海道北見市議会行政視察来庁
- 16日 大仙市・仙北市・美郷町議会議員交流会
- 16日 出資法人等経営改革調査特別委員会視察研修
- 20～22日 広島県三原市議会行政視察来庁
- 24日 教育民生常任委員会協議会
- 24日 建設水道常任委員会所管事務調査

【12月】

- 5日 第4回定例市議会(1日目)
- 5日 議員全員協議会
- 13日 教育民生常任委員会協議会
- 13日 第4回定例市議会(2日目)
- 14日 第4回定例市議会(3日目)
- 14日 出資法人等経営改革調査特別委員会
- 15～18日 各常任委員会審査
- 18日 福祉施設等法人化調査特別委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 第4回定例市議会(最終日)
- 20日 議員全員協議会
- 27日 福祉施設等法人化調査特別委員会
- 28日 愛知県岡崎市議会行政視察来庁
- 28日 議会運営委員会
- 29日 出資法人等経営改革調査特別委員会
- 29日 建設水道常任委員会所管事務調査

請願・陳情・意見書

【請願】

- ◇新堀川の再改修について =採 択=
- ◇「イオン」大曲ショッピングセンターの進出に反対することについて =不採 択=
- ◇行き詰まったWTOに代わる、食糧主権にもとづく貿易ルールと農業・食糧政策の確立を求めることについて =継続審査=

【陳情】

- ◆「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために庶民増税の中止を求めることについて =採 択=
- ◆「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために社会保障の拡充を求めることについて =採 択=
- ◆療養病床の廃止・削減と患者負担増の中止等を求めることについて =採 択=
- ◆秋田県の医師不足を解消し、地域医療の確保を求めることについて =採 択=
- ◆市道251 寺山一九十九沢線一部区間の拡幅工事に関する事について =採 択=
- ◆大沢郷地区簡易水道施設整備事業の分離・分割・地元発注のお願いについて =継続審査=
- ◆森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求めることについて =採 択=
- ◆市道(旧南外村道8号線)の改善について =継続審査=
- ◆米価下落に影響を及ぼす低品位米と政府備蓄米の流通見直しを求めることについて =継続審査=
- ◆ユメリアプール施設の存続に関する事について =継続審査=

【意見書】

- 庶民増税の中止を求める意見書
- 「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために社会保障の拡充を求める意見書
- 療養病床の廃止・削減と患者負担増の中止等を求める意見書
- 秋田県の医師不足を解消し、地域医療の確保を求める意見書
- 森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書

※この意見書は、大仙市議会の提案により議決し、内閣総理大臣をはじめ、各関係大臣等に要望しました。

建設水道常任委員会

10月24日から26日にかけて岐阜県高山市と郡上市を視察しました。

高山市では水道事業の指定管理者制度についての研修を行いました。同市の水道事業は今年4月から上水道、簡易水道、専用水道などの52施設の運転保守管理等の業務を全国で初めて指定管理者に委託しております。水量管理や水質管理、水源から配水池までの施設や計装設備などの保守管理の業務範囲で9地域を厳格な基準を設けて業者を募集し、3社で出資するSPC



高山市役所で水道事業の指定管理者制度の説明を受ける建設水道常任委員

(特別目的会社)に委託し、年間約4千万円の経費削減が図られると見込んでおりました。

郡上市ではまちづくり交付金事業についての研修を行いました。郡上おどりと水のまちで知られる同市は3地区においてまちづくり交付金事業が行われており、中央部に位置する八幡中央地区は古くから城下町として開け、歴史的町並み、歴史的資源や水資源が豊富に残され、この保全活用をまちづくりの核として、防災面を考慮し、住環境整備を行うとともに、地域活性化と地域文化の情報発信を図り、住民参加のまちづくりに取り組むために今年度から平成22年度までに約16億円の事業費で、景観にあつた道路、ポケットパーク、案内看板、歴史的建造物修景、水利用施設等の整備が行われます。

両市共に先に調査事項を事前に連絡し、資料に基づき説明を受けた後に質疑応答、情報交換を行いました。当市の水道事業及び、まちづくり交付金事業の参考としたいと痛感した次第であります。

(委員長 千葉 健)

出資法人等経営改革調査特別委員会

大仙市出資法人等経営改革調査特別委員会は11月15日から17日までの3日間、岡山県新見市と広島県三次市を視察し、第三セクターの現状と課題及び経営改善の取組について先進地研修を行いました。

新見市は、大仙市と同様17

先進地に学ぶ

委員会の視察研修レポート

10月から11月にかけて、建設水道常任委員会、出資法人等経営改革調査特別委員会及び福祉施設等法人化調査特別委員会の3委員会が視察研修を行いました。

各委員長から研修レポートが提出されましたのでご報告いたします。

年の3月に1市4町が合併してできた新しい市であり

ましたが、1社団法人、4株式会社

の平均出資率 77.3%

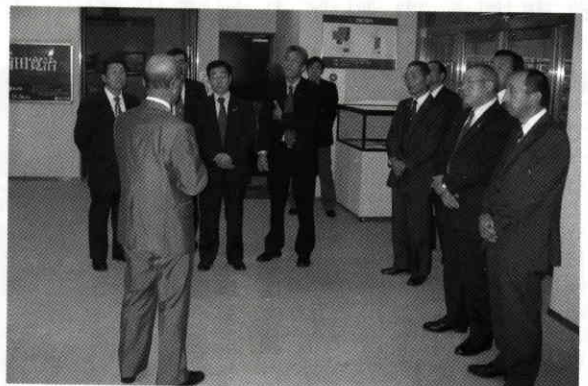
について経営改善の取り組みについて研修して参りました。そのうち、神郷温泉施設では支配人を公募で選

び、初の女性支配人が誕生、集客アップに大きな効果が

でてきたとのことでした。また、新見美術館は18年度

から指定管理者制度を導入し、これまでの管理委託金の2割が削減されており、民間能力を活用した効率的な管理運営に効果が期待できるとのことでした。

三次市は、平成16年4月に1市4町3村が合併して誕生した市で、今回の視察先は旧君田村に設置された「みちの駅・ふおレスト君田」を経営している株式会社君田トエンテイワン(21)の運営方針並びにその実績について研修して参りました。温泉施設、宿泊施設、農産物処理加工施設等9施設を管理運営しており、支配人を含めた47名のスタッフ全員が経営責任を持って仕



新見美術館で指定管理者制度の説明を受ける委員

事に当たっているとのことでした。その結果合併時に、5億の基金を新しい市に積みこ

とができたとのことでした。市の出資率は40%で、一般住民が50%の住民出資型の第三セクターとして、また地域の雇用創出を目的として設置されたものであり、基金を生み出したことも全職員の意識改革の成果とのことでした。

両市とも、当市が抱えている第三セクターの経営改善に活かせる内容が数多く、今後の当特別委員会にも参考になる貴重な事例を研修することができました。

(委員長 北村 稔)

提出された議案と審議結果

【第3回臨時会】 11月6日開会

- 大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について..... 原案可決
- 工事請負契約の締結について（統合保育園建設事業（西仙北）建築工事）..... 同意

【第4回定例会】 12月5日～12月20日開会

- 平成17年度大仙市一般会計・特別会計歳入歳出決算の認定について..... 認定
- 大仙市肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例の制定について..... 原案可決
- 大仙市史跡の里交流プラザ「柵の湯」使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について..... 原案可決
- 大仙市公民館条例の一部を改正する条例の制定について..... 原案可決
- 大仙市民体育館条例の一部を改正する条例の制定について..... 原案可決
- 大仙市消防団の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について..... 原案可決
- 協和町観光事業審議会条例を廃止する条例の制定について..... 原案可決
- 大仙市生涯学習センター条例の制定について..... 原案可決
- 大仙市ドメスティック・バイオレンス等防止基金条例の制定について..... 原案可決
- 大仙市農地環境保全審議会条例の制定について..... 原案可決
- 字の区域の変更について..... 原案可決
- 秋田県市町村総合事務組合理約の一部変更について..... 同意
- 秋田県市町村会館管理組合理約の一部変更について..... 同意
- 大仙市過疎地域自立促進計画の変更について..... 原案可決
- 秋田県後期高齢者医療広域連合の設置について..... 原案可決
- 大仙市協和モーターサイクル場の指定管理者の指定について..... 原案可決
- 大仙市まほろば唐松中世の館及び大仙市工学博士物部長穂記念館の指定管理者の指定について..... 原案可決
- 大仙市まほろば唐松公園施設の指定管理者の指定について..... 原案可決
- 平成18年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について..... 原案可決
- 平成18年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入額の変更について..... 原案可決
- 平成18年度大仙市老人デイサービス事業特別会計への繰入額の変更について..... 原案可決
- 平成18年度大仙市一般会計補正予算（第4号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市老人保健特別会計補正予算（第2号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第3号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市宅地造成事業特別会計補正予算（第3号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市老人デイサービス事業特別会計補正予算（第2号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市淀川財産区特別会計補正予算（第2号）..... 原案可決
- 平成18年度市立大曲病院事業会計補正予算（第1号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市上水道事業会計補正予算（第1号）..... 原案可決
- 平成18年度大仙市一般会計補正予算（第5号）..... 原案可決

編集後記

再チャレンジ元年！

◇新年明けましておめでとうございませう。昨年は大雪で大変な苦労をしましたが、今年のお正月は穏やかな天候が続き、良い一年の予感がするスタートができたものと喜んでおります。さて、市議会だよりも第7号の発行となりました。今年も一般質問を中心に分かりやすくをモットーに編集に努めてまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願いいたします。

◇いよいよ若竹団体の年です。昭和36年の「まごころ団体」が思い出されます。温かい県民性が発揮されたもてなしと絶賛を浴びたことを当時中学生ながら鮮明に覚えております。今大会も全国から来る皆さんや市民が共に心に残る大会にと願っております。

◇戦後の日本の復興は国民総チャレンジ精神で今日の繁栄を築くことができましたが、新生大仙市も財政健全化のための構造改革に再チャレンジをしております。

◇市民の目線に立った行政、市民と協働のまちづくりを目指し、皆様の負託にこたえる所存でありますので、今年も引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

編集委員 竹原弘治 記

